

2 循環型社会形成への取組み

1. 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

循環型社会の形成に向け、廃棄物の適正な管理・処理を行うとともに、2001年から3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進する廃棄物ゼロエミッション活動に取り組んでいます。

産業廃棄物

当社が排出する産業廃棄物には、火力発電所の運転に伴う副産物(石炭灰、石こう)や工事に伴う撤去資材などがあります。これらの産業廃棄物については、適切な管理・処理を行うとともに、発生量の抑制(Reduce:リデュース)、再使用(Reuse:リユース)、再生利用(Recycle:リサイクル)の3Rを実践しています。

産業廃棄物の発生状況とリサイクル率(2015年度)

	発生量 (トン)	リサイクル量 (トン)	リサイクル率 (%)	主なリサイクル 用途	
石炭灰	705,000	705,000	100	セメント原料 コンクリート混和材	
その他 産業 廃棄物	重原油灰	884	884	100	バナジウム回収
	石こう	109,000	109,000	100	セメント原料
	汚泥	7,080	3,180	45	セメント原料
	廃油	2,430	2,410	99	燃料油に再生
	廃プラ	214	192	90	助燃材
	金属くず	15,000	15,000	100	金属材料
	廃コンクリート柱	11,600	11,600	100	路盤材、建設骨材
	ガラス・陶磁器くず	49	48	98	ガラス製品材料
	特別管理 産業廃棄物*	341	304	89	セメント原料
	その他	176	147	84	助燃材
小計	147,000	143,000	97		
産業廃棄物総合	851,000	847,000	約100		

(注) 有効数字3桁にて記載。四捨五入のため合計値が合わないことがある。
 ※:「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」において、人の健康または生活環境に係る被害を生ずる恐れがある性状を有するため特別管理産業廃棄物として規定されている汚泥、廃石綿等、廃油、廃アルカリ及び廃酸。

WEB 産業廃棄物の発生量とリサイクル率の推移については九州電力ホームページ
 関連・詳細情報(P2参照) > 産業廃棄物の発生量とリサイクル率

■ 発生量の抑制(リデュース)への取組み

発電所では、発電設備の保全リスク管理*を徹底しており、これに基づく適切な工事計画の策定・実施により、廃棄物の発生量抑制に取り組んでいます。

*: リスクマネジメントの考え方を設備保全に適用した手法の一つであり、設備の劣化・破損・故障に起因する種々の影響をリスクとして捉え、そのリスクの大きさに応じて設備保全方針を決定していく手法。

■ 再使用(リユース)への取組み

配電工事等で撤去した電力用資機材については、再使用に必要な性能、品質を有しているかなどを適正に判断し、再使用しています。

配電用資機材の再使用状況(2015年度)

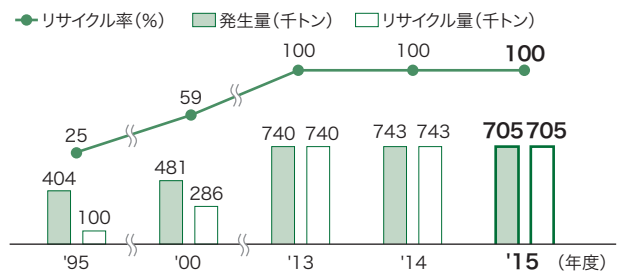
	撤去数*[A]	再使用数[B]	再利用率[B/A](%)
柱上変圧器(台)	16,769	16,769	100
柱上ガス開閉器(台)	899	899	100
低圧電力量計(個)	636,830	493,244	77
コンクリート柱(本)	6,589	6,589	100
高圧線(km)	483	483	100
低圧線(km)	895	895	100

※:旧仕様・型式等により、再使用できないものや修理対象外のものとは除く。

■ 再生利用(リサイクル)への取組み

2015年度は、発生した産業廃棄物約85万トンをはほぼ100%リサイクルしました。産業廃棄物の大部分を占める石炭灰については、石炭灰の特性を活かしたセメント原料などへの有効利用を行っており、100%リサイクルしています。

石炭灰の発生量とリサイクル率



WEB 詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報(P2参照) > 石炭灰の新たな有効利用への取組み

WEB その他の取組みについては九州電力ホームページ
 関連・詳細情報(P2参照) > 配電用資機材の再生利用状況

用語集をご覧ください

- >> 循環型社会
- >> 石炭灰
- >> 汚泥
- >> 柱上ガス開閉器
- >> ゼロエミッション
- >> 石こう
- >> 石綿(アスベスト)
- >> バナジウム
- >> 3R
- >> リサイクル率
- >> リスクマネジメント
- >> 柱上変圧器
- >> 産業廃棄物
- >> 重原油灰

社外ステークホルダーのご意見

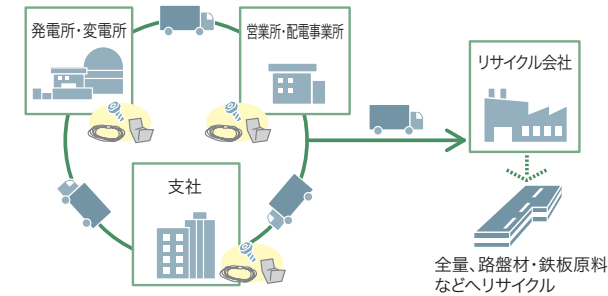
リサイクルはとても大切なことなので、循環型社会の形成に向けて積極的に取り組んでほしい。

▶ P23~24 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

産業廃棄物の共同回収

全社的かつ恒常的に発生している産業廃棄物については、対象品目を定め、複数事業所を一括回収後、全量リサイクルする「共同回収」を行っており、リサイクル率向上に加え、効率的回収による輸送面での環境負荷低減にも努めています。

共同回収の流れ



●対象品目
廃プラスチック類、金属くず、ガラス・陶磁器くず、木製パレット、廃蛍光管、廃乾電池

産業廃棄物の社外埋立処分量の抑制

2015年度の産業廃棄物の社外埋立処分量は、共同回収の確かな運用などにより、44トンとなりました。

一般廃棄物

当社で発生する一般廃棄物には、古紙等のオフィス活動に伴うものや発電所の貝類、ダム流木などがあります。これらの一般廃棄物についても、適切な管理・処理を行うとともに、3Rを実践しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) ▶ 当社で発生する一般廃棄物のリサイクル状況

古紙などの一般廃棄物の発生量とリサイクル率 (2015年度)

	発生量(トン)	リサイクル量(トン)	リサイクル率(%)	主なリサイクル用途
古紙	1,136	1,136	100	再生紙
貝類	53	4	7*	路盤材
ダム流木	5,908	5,908	100	敷きわらの代用品

※：四捨五入のため、上表の発生量・リサイクル量にて算出する数値とは一致しない。

古紙のリサイクルについては、取組みを開始した2002年度以降、100%リサイクルを継続しており、回収した古紙の一部は、グループ会社でコピー用紙やトイレトーパーなどに再生されています。



回収した古紙で作った製品



WEB その他の取組みについては九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) ▶ 不当投票パトロールへの協力

2. グリーン調達

製品等の調達の際は、“まずその必要性を十分に精査の上、環境にやさしい製品等の調達を図る”ことを定めた「グリーン調達制度」を2002年度から導入し、お取引先とも協働して、製品等のグリーン調達に努めています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) ▶ グリーン調達制度のご紹介

汎用品 (事務用品等の市販品)

汎用品については、当社購入基準(個別ガイドライン)に適合した環境配慮製品を原則購入することとしており、2015年度のグリーン調達率※は99%となりました。

※：購入した汎用品に占める環境配慮製品の割合(環境配慮製品のある品目が調達率算定の対象)。

電力用資機材

お取引先から応募いただいた製品等の情報・提案をもとに、特に良好と認められる製品を当社の「グリーン製品」として指定し、社内外に公表するとともに、積極的な調達を行っています。

グリーン取引先

積極的に環境活動に取り組まれているお取引先を「グリーン取引先」として指定し、当社ホームページに企業名を掲載させていただくとともに、見積参加機会の拡大等に配慮しており、合計で233社を指定しています。

用語集をご覧ください

- >>一般廃棄物
- >>グリーン調達

- >>環境配慮(型)製品
- >>グリーン製品